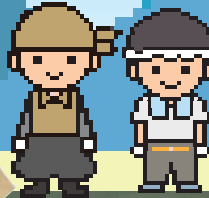


ハタラク

HATARAKU vol.16

これから就職を考える高校生のみなさんに働く素晴らしさを伝えるシリーズ企画。



働かって、楽しい!

PUSH START BUTTON

釧路の街で、ハタラクウ!

家をつくる、ビルをつくる、橋をつくる、道路をつくる。この街をつくるのは職人さんです。今回は釧路高等技術専門学校建築塗装科の上田真一先生と、生徒の櫻井謙二さんです。

PROFILE

うえだ しんいち

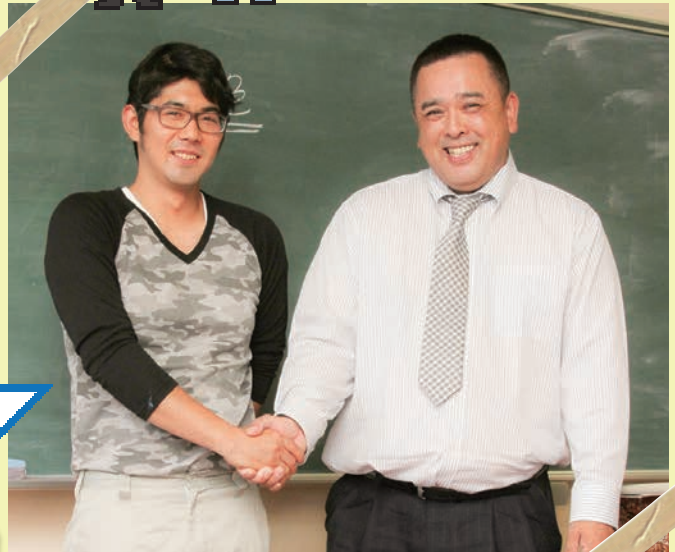
上田 真一さん(50さい)/有)上田塗装

さくらい けんじ

櫻井 謙二さん(30さい)/辻元塗工(株)



櫻井さんは釧路西高等学校を卒業後、介護福祉士を目指して進学するも大病を患って中退。半年間の入院生活を経てアルバイトを転々とした後、辻元塗工(株)へ入社。会社の協力を得ながら釧路高等技術専門学校建築塗装科へ通い、上田先生に師事している。現在、塗装技能士2級取得を目指している。



Q.01

櫻井さんが建築の道に進んだキッカケは? また仕事の魅力は?

キッカケになったのは「2年間学校へ通い、働きながら資格取得を目指す仕事です」という求人でした。入院したことでアルバイトを転々としていた私は、何か資格が欲しいと思い、どんな仕事なのかも分からないまま就職しました。塗装はペンキを塗って見栄えを良くするだけでなく、ヒビ割れを防ぐなど建物を長持ちさせる仕事です。現在は後片付けや補助作業だけですが、先輩たちの塗装が色ツヤもキレイに仕上がっているのを見て未熟ながらも「早く塗ってみたい」と思います。

Q.02

上田さんの考える、塗装の魅力や職業訓練に対する想いを教えてください!

塗装職人は下積み15年と言われてます。訓練校に入るということは技術の近道にもなるので、就職と入学を同時に受けることで色々な資格も取得できます。続ける中で面白さにひっかかる瞬間が必ずあって、気付くために基礎をしっかり学ぶことが必要なんです。塗装に使う塗料には毎年進化した新たなものが登場しており、やればやるほど奥が深い仕事です。塗装に少しでも興味があるのなら、塗装科を再開した今がチャンスなんじゃないかと思います。

少しでも早く基礎を覚えられるよう、勉強中です!

33年経った今でも、新しい発見がたくさんある業界です!



My 装備品

塗装道具セット

ペンキを塗るために必要となる刷毛・ローラーはもちろん、塗らない場所を保護するために使うマスキングテープなども塗装職人の必須道具。



インタビューの全容は、WEBサイトにてご覧いただけます!

職業訓練法人 釧路地方職業能力開発協会

釧路市鳥取南7丁目2-20 / Tel.0154-52-1150

釧路地域職業訓練センター内

WEBサイト <http://www.hatara946.com>

*釧路市受託事業 「職」の再発見事業

